

## 佐潟の特徴

- ① 佐潟は国内最大の「砂丘湖」といわれ、新潟砂丘の砂丘列間のくぼ地に水がたまったものです。
- ② 水源は主に湧き水(淡水)です。雨水が周囲の砂丘にしみこみ地下水として出てきます。佐潟に流れこむ川はありません。
- ③ 面積は76ha(ラムサール条約登録面積)で、このうち水域は43.6haです。
- ④ 水深は平均1m程度と浅く、湖底は船底型をしています。
- ⑤ 水質は窒素やリンなど栄養塩類が多く、富栄養湖という分類です。
- ⑥ 湿地特有の自然生態系を残し、貴重な野生生物の生息地になっています。



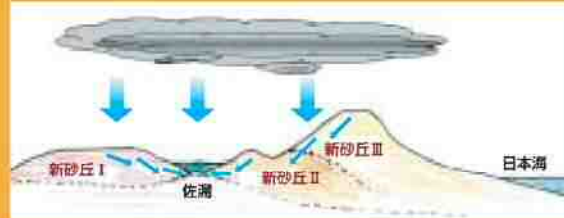
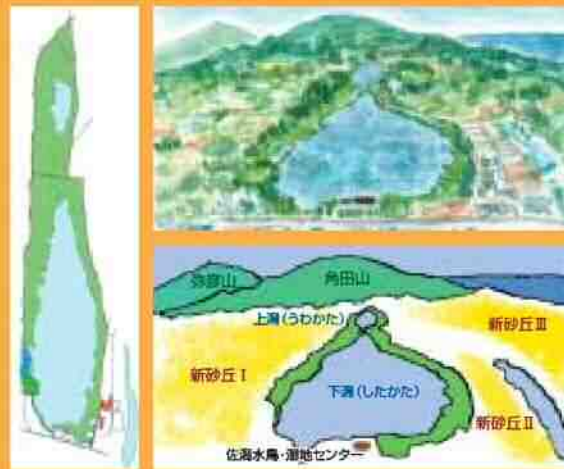
ミズアオイ



ジュスカケハゼ



オジロワシ



## ラムサール条約について



コバクチョウ



コイ魚

1971年、イランのラムサールという町で国際会議が行われ「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が決められました。これをラムサール条約といいます。世界中のたいせつな湿地を世界中の国々が手をつなぎいっしょに守っていきましょうという国同士の取り決めです。日本は1980年にラムサール条約に入りました。佐潟は1996年日本で10番目のラムサール条約登録湿地になりました。2014年11月現在、世界168カ国、2,186ヶ所の登録湿地の一員です。

## 賢明な利用(wise use)について

ラムサール条約では、「湿地の価値をなくさずに、じょうずに利用していきましょう」という考え方を大切にしています。これを「賢明な利用」といいます。例えば、湿地を守りながら漁業・農業・産業・観光を営むことは賢明な利用といえます。人と湿地(自然)が互いによりよい関係を長く続けていこうということです。

かつて農業用水池として利用された佐潟では、夏、村をあげて湖底の枯れた植物やドロの清掃活動(潟普請)をおこない、また春にはドロを潟の周りの水田にあげて有機肥料として利用していました。これらは佐潟の湧き水を出やすくし、湖底が浅くなることを防ぐため地元赤塚地域の人たちにとって大切な仕事になっていました。また、江戸時代では、税金を納めなければ鳥を捕らえてはいけないいきまりがあったことや、1981年には国指定佐潟鳥獣保護区に指定するなどの野鳥保護の歴史があります。

これまで、地元の人たちが、生活の糧を得る場として利用することでたくさんの種類のいきものやいきものが棲むことのできる環境を守ってきました。佐潟ではラムサール条約登録以前から、「賢明な利用」が行われてきたといえます。

今もコイ・フナ漁が行われ、そのようすを見ることができですが、社会が様々変化し佐潟と人の関わりも変化してきています。その歴史や現実をもとに佐潟での「賢明な利用」は大切なことだと確認し、新たな形で地元や市民の活動に引き継がれようとしています。



昭和30年頃の佐潟(赤塚小学校所蔵)



## 国指定佐潟鳥獣保護区 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261新潟市西区赤塚5404-1  
TEL.025-264-3050 FAX.025-264-3051  
E-mail sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

■開館時間 9:00~16:30 ※11~2月の毎土日は早朝7:00開館(年末年始を除く)  
■休 館 日 毎週月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)・12月29日~1月3日

### 交通のご案内

■ 車 北陸自動車道新潟西ICより20分。または巻潟東ICより20分。

## ラムサール条約登録湿地

# 佐 潟

ともにいきる潟



SAKATA

潟にすむいきもの



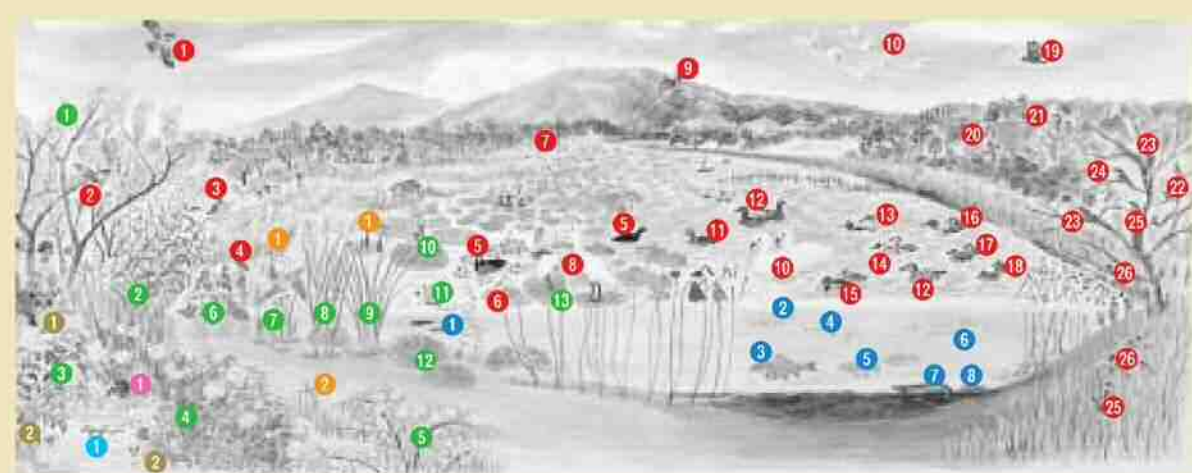
国指定佐潟鳥獣保護区  
佐潟水鳥・湿地センター  
環境省・新潟市



さかた  
いきものすみか **佐 潟**



湿地は歴史上の文明を育むなど人間にとっても大切な役割を果たしてきました。いきものにとっても湿地という環境は地球の中でもたくさんの種類が育まれる場所ということがわかってきました。佐潟でもこれまで野鳥206種、植物465種などが確認されています。冬の白鳥やカモたち、夏の水生植物の花々だけでなくトンボやカエル、タヌキなどが、それぞれのかかわりをもちすんでいるようです。四季折々佐潟を巡り彼らと出会うことで、きっと佐潟という湿地の豊かさを感じてもらえるでしょう。



- 鳥類**
- 1 ミサゴ
  - 2 カッコウ
  - 3 オオヨシキリ
  - 4 カワセミ
  - 5 オオバン
  - 6 ヨシゴイ
  - 7 コアジサシ
  - 8 ダイサギ
  - 9 アオサギ
  - 10 コハクチョウ
  - 11 マガン
  - 12 ヒシクイ
  - 13 カワアイサ
  - 14 ミコアイサ
  - 15 マガモ
  - 16 オナガガモ
  - 17 トモエガモ
  - 18 コガモ
  - 19 チュウヒ
  - 20 オオタカ
  - 21 オジロワシ
  - 22 モズ
  - 23 アカゲラ
  - 24 ツグミ
  - 25 カシラダカ
  - 26 シジュウカラ

- 植物**
- 1 タチヤナギ
  - 2 ヨシ
  - 3 ウツギ
  - 4 ノイバラ
  - 5 ニワトコ
  - 6 ミズアオイ
  - 7 コウホネ
  - 8 マコモ
  - 9 ヒメガマ
  - 10 オニバス
  - 11 ヒシ
  - 12 オトリゲモ
  - 13 ハス

- 魚類**
- 1 トウヨシノボリ
  - 2 メダカ
  - 3 コイ
  - 4 タイリクバラタナゴ
  - 5 ギンブナ
  - 6 タモロコ
  - 7 ウナギ
  - 8 ドジョウ

- 昆虫類**
- 1 コフキトンボ
  - 2 セスジイトトンボ

- 両生類**
- 1 アズマヒキガエル

- 爬虫類**
- 1 トカゲ

- 哺乳類**
- 1 タヌキ
  - 2 イタチ